



NPO法人
日本アレルギー友の会
〒135-0002
東京都江東区住吉2-6-5
インテグレート村上3F
TEL 03 (3634) 0865
FAX 03 (3634) 0850
http://www.allergy.gr.jp/
mail j-allergy@nifty.com
郵便振替 00130-6-109985
編集発行人 堀内 繁

ステロイドの正しい使い方を知ろう

ぜんそく・アトピー性皮膚炎 講演会とQ&A

主催 NPO法人 日本アレルギー友の会

後援 財団法人 日本アレルギー協会

日時 平成22年5月23日(日)
12時30分～16時(開場12:00)

場所 東医健保会館ホール **入場無料**

東京都新宿区南元町4番地

☎03-3353-4311

《JR信濃町駅下車徒歩4分》

参加申込・お問合せ

NPO法人 日本アレルギー友の会

☎03-3634-0865 FAX 03-3634-0850

Eメール j-allergy@nifty.com

(毎週火曜日・土曜日 11時～16時

5月17日～22日は毎日受付)

2010年が明けて早4カ月、月日が経つのは早いものです。今年の都心部は、暖かく晴れた日が続くかと思えば、強風や大雨が降ったりと、せわしない天気が続きました。天候が悪くなると、東京は自然の猛威にすぐ左右されます。電車が止まり、道路は渋滞。そのたびにいつも思うこと、それは、何事にも「備え」が必要なのではないかということです。

健康にしても同じではないでしょうか。発

作や湿疹が出てからでは、治すのに時間がかかります。ですが「備え」、日頃の予防対策は症状を軽減させます。これからの季節は、アレルギー患者にとって少しやっかいな季節です。症状が出る前に備えをしていきましょう。その備えのヒントにもなるアレルギー友の会主催の講演会が5月23日(日)に開催されます。症状が起きた時でも慌てず対応できるよ、知識の備えをしませんか。

目次

- 成人重症アトピー性皮膚炎に対するシクロスポリン内服療法①……………(2)(3)
- 成人ぜんそくにおける新薬情報①……………(4)(5)
- 「患者だからわかる」シリーズ
- 読者からのメッセージ……………(6)(7)
- 顧問の先生からのメッセージ⑥……………(8)

第一部 講演

★ステロイド外用薬を正しく理解し、上手に使いましょう

東京女子医科大学皮膚科講師

常深祐一郎先生

アトピー性皮膚炎の治療は、ステロイド外用薬を主として進められます。その症状に適した薬を処方されても、外用量や塗り方が間違っていると軽快へは導けません。今回常深先生には、基本となるきちんとしたステロイド外用薬の処置方法をお教えいただき、アトピー性皮膚炎でも支障のない生活を送ることができるといってお話をさせていただきます。

★ぜんそく治療における吸入ステロイド薬の役割

社会福祉法人同愛記念病院

アレルギー呼吸器科部長 黨 康夫先生

ぜんそくの治療は吸入ステロイド薬を用いて行うことが大切だといわれています。きちんと毎日吸入をすることで、軽快へつながることになります。ぜんそくが原因で生活の範囲を狭めたり、

やりたいことができなかつた今までより変わるはずですよ。当たり前前ではあるけ



常深先生



黨先生

平成22年度総会開催のお知らせ

- 日時 5月23日(日) 11時半より
 - 場所 東医健保会館にて(講演会前)
 - 議案1 平成21年度事業報告
 - 議案2 平成21年度決算
 - 議案3 平成22年度事業計画
 - 議案4 平成22年度予算
 - 議案5 総代任期満了に伴う改選の件
 - 議案6 会員の種別変更に伴う定款変更の件
- その他

第一部 講師を囲んでのQ&A

それぞれの疾患に分かれ参加者からの質問に先生方からお答えいただきます。普段主治医には聞けないことなどでも気軽に質問ができます。みなさまにとって、いざ症状が悪化した時の「備え」になるはずですよ。ぜひご参加ください。お待ちしております。